



平成25年9月30日

各位

上場会社名 東邦チタニウム株式会社  
代表者 代表取締役社長 杉内 清信  
(コード番号 5727)  
問合せ先責任者 経営企画部長 松原 浩  
(TEL 0467-87-2614)

## 業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年4月30日に公表した業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成26年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	15,400	△2,500	△3,000	△3,100
今回修正予想 (B)	15,000	△2,900	△3,300	△3,400
増減額 (B-A)	△400	△400	△300	△300
増減率 (%)	△2.6	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	17,904	587	468	370

(2) 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	33,100	△3,400	△4,200	△4,300
今回修正予想 (B)	30,700	△5,300	△5,600	△5,700
増減額 (B-A)	△2,400	△1,900	△1,400	△1,400
増減率 (%)	△7.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	40,081	801	485	△2,151

#### (3) 修正の理由

チタン製品の需要は中長期的には安定した伸びが見込まれるものの、航空機向け分野のユーザーにおける在庫調整や一般工業向け分野での需要低迷などを主因に、需要の回復が遅れております。この状況に対応するため、減産を一層強化し在庫圧縮を図ることとしました。(3.(1)参照)

このような中、コスト削減の推進や円安による一定の改善は見込まれるものの、減産強化に伴い、当初の予想を上回る損失が見込まれることとなりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 平成26年3月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成25年4月30日発表)	0.00	未定	未定
今回修正予想	0.00	0.00	0.00
当期実績			
前期実績 (平成25年3月期)	0.00	3.00	3.00

### (2) 修正の理由

平成26年3月期の期末配当予想は未定としておりましたが、通期業績につきまして、上記の通り前回予想を下回る見通しとなりました。このような状況から、企業基盤の安定を図ることを優先すべきと判断し、誠に遺憾ではございますが、これまで未定としておりました当期の期末配当予想を無配に修正させていただきます。

## 3. その他

### (1) スポンジチタンの減産強化

スポンジチタンの生産は、本年4月より茅ヶ崎工場及び若松工場全体で約40%の減産を行ってまいりましたが、電力代の高い7月以降の夏期につきましては、減産率を引き上げ、全体で約50%の減産を実施してまいりました。

このたび、本年10月以降の生産体制に関しまして、夏期より既に実施しております全体で約50%の減産を、平成26年3月まで継続実施することといたしました。

### (2) 収支改善に向けた諸施策

#### ① 役員報酬及び管理職賃金の一層の削減

本年4月より役員報酬及び管理職賃金の削減を行っておりますが、本年10月より一層の削減を実施いたします。

#### ② 休業の継続

本年6月より休業によるワークシェアリングを実施し、雇用調整助成金を受給しておりますが、本年度中はこれを継続いたします。

上記改善策のほか、事業運営各面において、一層のコスト削減を徹底的に進めてまいります。

以上